

LINEマンガ

報道関係各位

2023.12.05

LINE Digital Frontier 株式会社

【LINE マンガ】中島颯太（FANTASTICS）、城桧吏、大原梓、松下由樹、富田靖子ら出演決定！ 原田泰造主演ドラマ『おっさんのパンツがなんだつていいじゃないか！』第2弾キャスト解禁

東海テレビ・フジテレビ系全国ネットにて2024年1月6日（土）より放送開始

LINE Digital Frontier 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：高橋将峰）は、当社が運営する電子コミックサービス「LINE マンガ」<https://manga.line.me/> のオリジナル作品『おっさんのパンツがなんだつていいじゃないか！』（作：練馬ジム）の実写ドラマにおいて、中島颯太（FANTASTICS）、城桧吏、大原梓、松下由樹、富田靖子の出演が決定したことをお知らせします。

■おっさんのパンツがなんだつていいじゃないか！：<https://manga.line.me/product/periodic?id=Z0001125>



国内累計閲覧数5,600万回を超える（※1）「LINE マンガ」のオリジナル作品『おっさんのパンツがなんだつていいじゃないか！』の実写ドラマが、東海テレビ・フジテレビ系全国ネットにて2024年1月6日（土）より放送を開始します。

本作は、世間の常識・偏見で凝り固まり“最近の若者”が理解できない主人公・沖田誠が、ゲイの青年・大地との出会いによって人としての成長を誓い、“自分の中の常識”をアップデートしていくホームコメディです。

主人公をネプチーンの原田泰造が務めることで、放送開始前から話題を呼んでいるドラマ「おっさんのパンツがなんだつていいじゃないか！」。この度、誠をとりまく個性豊かな共演陣が決定しました。

物語を導くゲイの青年・五十嵐大地役をダンス＆ボーカルグループ・FANTASTICSの中島颯太、誠に反発する引きこもりの息子・沖田翔役を城桧吏、誠のデリカシーのなさに辟易とする腐女子の娘役を大原梓と、今をときめくキャストたちが演じます。

さらに、中島演じる大地の母親・五十嵐美穂子役に松下由樹、誠の妻で“推し活”にハマる主婦・沖田美香役に富田靖子と、演技派2人の役どころにも注目です。

配役について、番組プロデューサーは「人気マンガの映像化だからこそ、生身の人間として生きた時にリアルな心情を表現できるキャストにお願いをした。現状考えられるベストの布陣が揃った」と、コメントを寄せています。

脚本を担当した藤井清美氏も「顔合わせでの本読みで、このドラマに向かうスタッフ・キャスト陣の熱意を感じました。原作マンガの面白さをドラマという形でお届けしたいという思いに加え、『変わっていく世界に自分自身も向き合おう』とする熱量だったと思っています」と太鼓判を押すドラマ「おっパン」にご期待ください。

「LINE マンガ」は、マンガ市場のさらなる発展と活性化を目指し、引き続き様々な取り組みを強化していきます。

※) 2023年11月末時点

LINEマンガ

■中島颯太（五十嵐大地役）コメント



演技にすごく興味を持っている中でいただいたお話で、とても嬉しかったです。いろんな人のいろんな形の"好き"を肯定するお話。"おっパン"を見ると誰のことも温かく愛することができます！ 大地くんは様々な葛藤を乗り越え、周りにいる人全員をとことん愛し、明るく前向きに進んでいく青年です。僕も演じながら大地くんに勇気をもらっています！ 見る前と見た後では全然違う世界に繋がるようなドラマだと思いますので、原田さん演じる誠さんと一緒にアップデートしながら、時にはクスッと笑い、楽しんでもらえると嬉しいです！

■城桧吏（沖田翔役）コメント



僕が演じる沖田翔は、初めて出会うキャラクターだったので少し不安はありましたか、新しい自分の発見もありそうで楽しみもありました。翔はある時から引きこもりですが、自分の好きをしっかり貫ける芯がある子で、尊敬できるし応援もしたくなります。そして、世の中に認められてほしい存在だなと思いました。人の為に自分の好きなことや、内面や外見まで変えることはしなくていいし、どんな自分でも自信を持っていいということを、見てくださる方に感じていただけたらと思います。翔が自分の想いを人に伝えて行く場面、話を通して変わっていく翔にも注目して見ていただきたいです。

■大原梓（沖田萌役）コメント



出演が決まった時はとても嬉しかったです。私自身、漫画原作の作品でメインキャラクターとして参加させていただくのが初めてなので、とても新鮮でワクワクした気持ちです。私が演じさせていただく萌は、自分の世界観をすごく大切にしていて、魅力的なキャラクターだと感じています。作中には色んな価値観や個性を持ったキャラクターが出てきます。今まで自分の人生になかった価値観や個性と対峙すると最初は抵抗や偏見があるかもしれません、関わってみて初めて「これは自分が決めつけていただけだったのか」と気づくことがあると思います。そういうたった気づきのきっかけになれば嬉しいです。

■松下由樹（五十嵐美穂子役）コメント



原作も脚本も面白く、原田さん演じる「おっさん」のアップデートしていく姿はハラハラドキドキしながらもユーモアがあって面白いです。私の役柄は難しくもありますが、息子に寄り添いながら母として愛情を持ち、親子共にアップデートしていく姿を演じてみたいと思います。それぞれがもがきながらも明るく前向きなドラマになると思います。原作とは一味違うドラマ版「おっパン」を楽しんで欲しいです。中島颯太くんも息子の大地も本当に良い子です！ 中学生のとき映画出演で会ってから40年ぶり？！ 富田靖子さんとの共演も個人的に大変嬉しいです！

■富田靖子（沖田美香役）コメント



「おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか！」なんて、なんて、文字数の多いタイトルなんだ！ と、原作を読み始めました。カラフルな可愛い装丁の本でした。しかしながら、笑いに包まれながらも、忘れちゃいけないこと、大切にしなきゃいけないことが散りばめられていました。あっという間に、沖田誠さん（お父さん）の奮闘ぶりに感動し、現在、沖田誠さんの妻、沖田美香役で奮闘中です！ 楽しく、胸熱な作品になるよう、丁寧に大胆に取り組みたいと思います！

LINEマンガ

■ 相関図



©Zim Nerima/LINE Digital Frontier
©TOKAI-TV, The icon

■ 脚本・藤井清美 コメント

主人公・沖田誠は、困った人でありながらもどこか愛らしいという、矛盾した人物です。原田泰造さんの演技は、まさにその両方を柔軟に行き来します。中島颯太さんは、心の中に持ったまっすぐさが大地とそっくり。城桧吏さんの繊細な表情は、翔の複雑な心情に寄り添い、大原梓さんの気遣いや明るさはまさに萌ちゃん。松下由樹さんは、原作にはない場面がとても楽しみですし、富田靖子さんは、原田さんへの信頼が役柄に可愛らしさと深みを与えています。原作漫画を読んだとき、「世界が変わっていくつつあるのはわかっているけど、自分がどうすればいいかわからない」と感じている中年男性の気持ちを、痛烈でありながらコミカルに、そして同時に繊細に描いていたことに惹かれました。その時感じた「是非ドラマ化して生身の俳優さんたちに演じて欲しい！」という願いが実現します。『アップデート』は難しいことではない、ただ目の前の人の気持ちに敏感になること——なんじゃないかと、脚本を書いていて思いました。このドラマを多くの方がご覧になって、ちょっと自分と周りの人を労わる気持ちになれると嬉しいです。

■ ドラマ「おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか！」について

【タイトル】「おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか！」

【放送日時】2024年1月6日（土）～3月16日（土）予定＜全11話＞

毎週土曜日 23時40分～24時35分 東海テレビ・フジテレビ系全国ネット

【企画】市野直親（東海テレビ）

【原作】「おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか！」練馬ジム（LINEマンガ）

【脚本】藤井清美 「ウツボカズラの夢」、「准教授・高槻彰良の推察」シリーズ（ほか）

【音楽】鈴木ヤスヨシ

【演出】二宮 崇、室井岳人、加治屋彰人

【プロデューサー】松本圭右（東海テレビ）、古林都子（The icon）、渋谷未来（The icon）

【制作】東海テレビ、The icon

LINEマンガ

【ストーリー】

このドラマの主人公は、世間の古い常識・偏見で凝り固まったひとりの中年男・沖田誠（原田泰造）。

妻の美香（富田靖子）、娘の萌（大原梓）からは「堅物」と嫌われ、会社でも部下に疎まれ、最近では飼い犬のカルロス（こまち）にまで無視される始末。だが、彼は彼なりに自分の信じる道を突き進んできた。それが「たった一つの正解」だと信じて――

そんな彼に転機が訪れる。高校生の息子・翔（城桧吏）が3か月前から引きこもってしまったのだが、家に連れてきた友人・五十嵐大地（中島颯太）がゲイだと分かり、誠は反射的に大地を否定してしまったのだ。

大地は美香の友人の獣医師・五十嵐美穂子（松下由樹）の息子だった。大切な友人にひどい言動を浴びせた誠に、息子の翔が悲しく言う。

「僕は……お父さんみたいな人には絶対なりたくない！！」

翔の言葉にショックを受ける誠。家族がいるから、満員電車にも日々の仕事にも踏ん張れた。なのに――

落ち込む誠に、大地がある提案をする。

「お父さん、俺と友達になれませんか？」

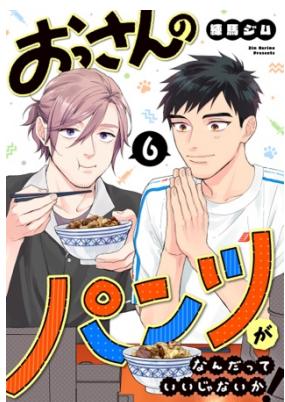
偏見だらけのアラフィフのおっさんに、二回り以上年下のゲイの友達ができたことで、おっさんの「常識」がアップデートされていく！

推し活にいそしむ妻、腐女子ガチ勢な娘、かわいいものが好きな息子・・・さらにはメンズブラを愛する部下、コスプレが好きな清楚系女子、セーラー服のおじさんなどなど誠は自分の常識を超える人々と次々に遭遇していくことに!! 果たして誠は、それぞれの好きを理解し、家族の、そして部下たちの信頼を勝ち取ることは出来るのか！？



LINEマンガ

■原作『おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか！』作品紹介



『おっさんのパンツがなんだっていいじゃないか！』

作者：練馬ジム

配信情報：毎週月曜更新

URL : <https://manga.line.me/product/periodic?id=Z0001125>

沖田誠 48歳。世間の常識・偏見で凝り固まつた彼には“最近の若者”が理解できない。上司にお茶を注がない女性、メンズブラ愛用の部下、そして引きこもりの息子…。そんなある日、ゲイの青年・大地に出会う。初めてのセクシュアリティに思わず拒絶してしまうが、次第に彼の魅力に気付き、友達になることに。そして知る、「その人の趣味や指向を他人が干渉するのはナンセンスだ」と。そう正に、おっさんのパンツがなんだっていいように！“人として”的成長を誓うおっさんは、無事に“自分の中の常識”をアップデートできるのか!?

■LINE マンガについて



「LINE マンガ」は、スマートフォンやタブレットで気軽にマンガ作品が楽しめる電子コミックサービスです。グローバルでの月間利用者数 8,500 万、累計ダウンロード数 2 億超、ひと月の流通額が 100 億円を超える、同市場で圧倒的世界 1 位の規模を誇るプラットフォームサービスの連合体 "WEBTOON Worldwide Service" の一員として日本市場で展開しています。

2013 年に国内でサービスを開始し、現在では国内マンガアプリ累計ダウンロード数で 1 位を記録するなど成長を続けています。また、本サービスでは LINE マンガでしか読めないオリジナル作品や独占配信作品、先行配信作品を 1,500 タイトル以上取り揃えており、幅広い支持を得ています。

また、スマートデバイスでの閲覧に適した、上から下に読み進める縦スクロール形式でカラーのデジタルコミック "webtoon (ウェブトゥーン)" の作品にも力を入れています。

※国内マンガアプリ累計ダウンロード数 (2013 年 4 月～2022 年 12 月) / iOS & Google Play 合計 / 出典: data.ai (App Annie より名称変更)